

## 卒業式 答辞

肌を刺すような冷たい外気が和らぎ、吹く風にも春の訪れを感じる季節となりました。本日は、私たちのために卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。無事に挙げてきたことを卒業生一同心より嬉しく思います。また、お忙しい中多くの先生方にご臨席いただき、厚く御礼申し上げます。

思いおこせば三年前、中学校を卒業し、不安と希望を抱き入学式を迎えました。それから三年間の日々の学校生活、学校行事を通して先生方に見守られて大きく成長してきました。はじめはクラスにまだなじめていない人も多くいる中、球技大会を通してクラスの基盤となる絆を築くことができました。敬学祭ではクラスで話し合い準備し実行することで団結力を身につけることができました。他にも全校生徒で作上げた手形アートや鶴文字は敬愛学園の輪を感じることでできる素晴らしいものとなりました。

体育祭では規制の厳しい中、先生方の協力のもと開催することができ、高校生活最後の大切な思い出となりました。学校行事のほかにも私たちは沢山のことを学んできました。

InageImage では地域の企業の方から出される課題に対して仲間と共に協力し、解決策を見出してきました。SDGs は調べれば調べるほど自分には見えていなかった世界における問題点を見つけることができ、私たちには何ができるのかどうすれば良いのか深く考えました。そして、卒業探究では一人一人が問題を見出し取り組み、自分の進路に関して改めて考える良い経験となりました。このような様々な経験をし、成長していくことができたのは支えてくださった先生方、そしていつもそばで支えてくれた家族の存在があったことだと思います。

私たちはこれから別々の道を歩んでいきます。しかし、沢山のひとと関わり支え合い、共に歩み成長した私たちは別々の道に進んでも一人ではありません。自分を信じてこれからも前に進んでいきます。

そして在校生の皆さん、すてきな祝辞をありがとうございました。部活や委員会などで共に支え合い、成長できたことはこれからのお互いの人生の糧となると思います。

私たちは、今日卒業しますが、来年度からは敬愛学園の「敬天愛人」の精神を受け継ぎ、目標に向けて頑張ってください。

最後になりましたが、学校生活を支えてくださった全ての方々に感謝申し上げますと共にこれからの敬愛学園高等学校の更なる発展を願って答辞とさせていただきます。

令和四年三月一日

卒業生代表 足立 翔星。